



NO. 8

令和元年12月2日

神根小だより 12月号 川口市立神根小学校

在籍児童数 男子(177)名 女子(140)名 計(317)名 16学級

「価値あるトキメキを」

校長 中村 義郎

12月となりました。5月1日にスタートした令和元年も残すところあとひと月です。振り返ると本当に時間の流れが早いなと感じてしまいます。

NHKが放映している某バラエティー番組で「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのはなぜ？」という問いをしている回がありました。その答えは、「トキメキがなくなったから」だそうです。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、このことについて解説した大学教授によると「トキメキ」とは、心がどのくらい動いているかということで、大人に比べ、子供は日々の何気ない出来事の中にも数多くの発見、疑問、驚きなどが複数あるということです。ですので、同じ時間でも子供は長く感じ、大人になると短く早く、感じてしまうということでした。

なるほど、校内の様子を見ていますと、児童は、日々の学習や友達との関わりの中で、様々な新しい発見、気づきをし、そして、それを一生懸命に教師に話して教えてくれます。まさに今という時間を数多くの「トキメキ」を感じながら生きているんだなと、改めて気付かされます。そんな「トキメキ」を大切にしたいですし、また、数多くの「トキメキ」を味わわせてあげられる機会を作ればよいなと思います。

さて、学校ではこれから2学期の学習のまとめに入ります。2学期に学習したことは、2学期のうちにしっかり身に付けましょう。一方で、冬休み、年末年始も近づいてきています。ご家庭での計画はいかがでしょうか。帰省やご旅行の計画のあるご家庭、または、家族水入らずゆっくりと過ごすご家庭、様々かと思います。

もう10年以上前になりますが、埼玉県では「彩の国5つのふれあい県民運動」という事業を推進していました。この取組は、子供たちに豊かな心をはぐくむために「自然」「人」「本」「家庭」「地域」の5つに関するのふれあいを深めようというものでした。これら5つの関わりを増やしていくことは、今なお重要で意義あるもので、むしろゲーム依存が世界的な問題となっている中、その重要性は更に高まっているとも思えます。

ぜひとも年末年始には、子供たちが5つの関わりを増やせるような計画を立てていただければと思います。普段仕事で忙しく、子供となかなか触れ合えていないというご家庭があるかもしれません。ぜひ、「家族」とのふれあい、「人」とのふれあいを増やす計画をお願いします。また、日ごろ「自然」「本」「地域」との関わりが少ないと感じるご家庭は、これらのふれあいを増やすような計画を立てていただければと思います。

テレビ、ゲーム、スマホ等の時間を減らし、子供たちが多くの価値ある「トキメキ」を感じられるよう、配慮をいただければと思います。

2学期も本校教育活動へのご理解・ご協力をいただけたこと、感謝申し上げます。